

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	発達障がい者支援・障がい者就業支援センター(仮称)新築	階数	地上7F
建設地	福岡県福岡市中央区舞鶴一丁目10	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	600 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,944 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,病院,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年1月5日
敷地面積	1,107 m ²	作成者	株式会社環・設計工房
建築面積	743 m ²	確認日	2021年1月5日
延床面積	5,043 m ²	確認者	株式会社環・設計工房

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100%
② 建築物の取組み: 86%
③ 上記+②以外の: 86%
④ 上記+: 86%

目標: 138 (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.2
Q2 サービス性能: 3.7
Q3 室外環境(敷地内): 2.7
LR1 エネルギー: 3.4
LR2 資源・マテリアル: 3.8
LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	「分かりやすさ」・「入りやすさ」など心理的な障がい(バリア)をつくらないようにした。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。 ・2・3・4階は、自然換気を考慮し、階段室にセンサー制御による換気窓を設けた。	・将来の更新を想定し、全室LED照明を採用。 ・EPS・PSを集約し、メンテナンスのしやすい配置・計画とした。 ・手すりや建具など木製でつくり、木の温かみを感じる	・緑被率20%を確保。(駐車場の緑化ブロックや壁面緑化)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・南外壁には日射を制御する庇を設ける。西外壁には西日を考慮し、開口部を少なくする。 ・全熱交換器の設置。	・節水設備機器、高効率の設備機器を採用した。	・敷地東側の隣接する集合住宅への視線を考慮し、開口部を少なくする。 ・敷地西側の既存歩道が狭いため、敷地をセットバックして通路幅を広げた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される